

平成28年度第4回観察会 記録

日 時	平成28年9月1日（木）～2日（金）	
観察地	滋賀県東近江市 愛知川流域（河口から永源寺ダム上流まで）	
講 師	藤岡康弘 先生（びわ湖の森の生きもの研究会）、丸橋裕一 先生（河辺いきもの森） 伊庭、蛭谷の自治会ガイド（小椋一衛氏他）	
テー マ	愛知川の生き物と文化を訪ねて	
備 考	参加者数 計27名（23名+田中先生+森本、卜部、藤原）、	記録 藤原

1日目（9月1日）

1. JR能登川駅西出口広場に10時15分集合。彦根観光バス（株）の中型バスに乗車して出発。
2. 先ず、田中先生から「愛知川観察会」が企画された経緯についてご説明をいただき、続いて、実行計画の立案に全面的ご協力をいただいた東近江市森と水政策課の田口課長より御挨拶をいただいた。
3. バスが愛知川河口に近づいた辺りから藤岡先生による解説。河口の手前、右岸一帯に広がる田園は湖址で、戦後の干拓により出来上がったもの。浚渫して満々の水をたたえた河口から左岸に位置する伊庭町へ。
4. 伊庭町自治会のガイドさんの案内で伊庭町内の「水のくらし」振りを見学。

集落内に張り巡らされた水路には美観と清掃を兼ねてたくさんのコイが放流されているが、要所では水路に柵を設けホタルのためカワニナを保護している。約1時間にわたって伊庭の歴史、水との関わり合いについて郷土愛が伝わる熱弁をお聞きした。



熱弁の伊庭町自治会ガイドさん

6. 午後からは再度藤岡先生による解説。

青山頭首工・・・農業灌漑用に設置された堰。通常はこの頭首工から伏流し水流が見えなくなるが、

1, 2日前の降雨で水量が多くこの日は豊かに水が流れている。

化石林・・・・・・化石化した根株が川床にあるのだが、水量が多く残念ながら確認できなかった。

永源寺ダム・・・灌漑用目的のダム、ダムに水没した集落の話、上流の澄んだ水等々のお話を聞く。



青山頭首工



永源寺ダム堤上

永源寺を拝観して、八風の湯で入浴・夕食。食後、細く暗い道を八風の湯の送迎車で宿舎である市の施設山の子の家へ移動。懇親会。



化石林は流水に沈下→

2日目（9月2日）

1. 市の宿泊施設である山の子の家がある付近一帯は日本における木地師発祥の地。地元自治会の小椋一衛会長から木地師について解説をしていただく。

○筒井御陵・・・859年、皇位継承に絡む難を逃れてこの地に幽閉された文徳天皇第1皇子の惟喬親王は経典の巻物から手回しろくろを思い付き地元民に伝授。この地から木地師が良木を求めて全国に分散したとされる。その惟喬親王の宮殿跡やお墓が祀られている。



山の子の家玄関前で



○木地師博物館・・・木地師に関する古文書類、加工作品、手回しのろくろ等の道具類を展示。

○筒井ろくろ見学・・・現役の木地師である北野氏から加工に関するお話を聞き、実際にろくろを回してお盆に加工する作業を見せていただいた。

2. 市が運営に関与しているとの廃校を利用した道の駅奥永源寺渓流の郷に寄ってから香想庵でジビエ料理の昼食。

3. 食後、河辺いきものの森訪問。

管理棟ネイチャーセンターで、市の職員でもある丸橋先生から、1時間余にわたり子供への自然教育について長年の体験に基づいた貴重なお話を拝聴した。子供には花や虫の名前を教えてはいけない。教えるのは、キレイ！とか、カワイイ！などの感動を子供たち

が味わった後。それで初めて子供たちに印象として

名前が残る等々、心に残るお話をだった。



林冠トレイン



講話後、ネイチャーセンターを一周するように森の中を周遊。樹々を上から見下ろせる林冠トレインや、常緑樹林、落葉樹林を人手の加えようで作り分けたモデル林、等々いろいろな試みを観ることができた。今回、見学できたのは全体の3分の1程度で、もっと観たかったとの希望が多くあった。

4. 後ろ髪を引かれる思いを抱いてJR能登川駅へ、16時10分頃解散。

(注) 文面中の挿入写真の一部は、櫻井裕氏からご提供いただきました、感謝。